

あなたの合格を全力でサポートします！

2級造園施工管理技士

一次・二次コース

一次コース

二次コース



女性を選ぶ資格スクール

No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座

No.1



大学生を選ぶ資格スクール

No.1



TOP INTERVIEW

株式会社建築資料研究社は、
1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、
多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えます。
創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、
設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、
『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから
資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。(現在の日建学院)
私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら
日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。
仕事を続けながらの受験勉強はけっして楽なことではありません。
仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。
しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

HISTORY

- 2005年 登録講習機関として許可を受け「宅建登録講習」を開講
- 2004年 実施協力機関として「監理技術者テレビ講習」を開講
- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンbbスクール」スタート
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1986年 「1級/2級土木・造園・管工事、測量士補講座」開講
- 1985年 「1級/2級建築施工管理技士講座」開講
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 建築専門学校「東京日建工科専門学校」開校
- 1980年 日建学院60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講
「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 日建学院 映像講座制作の為、本社内にスタジオ・編集室設置
基本建築基準法関係法令集(オレンジ本)創刊
- 1976年 日建学院開設 東京校(1・2級建築士学科・設計コース)
- 1975年 雑誌「住宅建築」創刊
- 1973年 カセットによる建築士養成講座発売
- 1972年 コンピューターによる建築構造計算システムを開発
雑誌「庭」・積算ポケット手帳を創刊
- 1970年 原図資料集発売
- 1969年 株式会社建築資料研究社創立

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。

この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、

創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、

頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役 馬場 栄一

1992年 3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年 4月 大成建設株式会社東京支店 入社
(現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか
大阪:泉大津ポートタワー-建築工事ほか

*在職中に一級建築士/一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年 1月 株式会社建築資料研究社 入社

2000年 4月 住宅事業本部 本部長

2002年 4月 学院本部 本部長

2007年 5月 営業本部 取締役

2007年 7月 代表取締役社長 就任
現在に至る



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。

2024年 創立55周年

2021年 日建学院建築士講座が日本マーケティングリサーチ機構の調査により10部門でNo.1を獲得

2020年 日建学院が日本マーケティングリサーチ機構の調査により3部門でNo.1を獲得

2019年 創立50周年

2015年 日建学院開校 40周年

2014年 8月に創立45周年となる

2012年 スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築

2011年 個別講座を扱う日建学院公認スクールを全国に展開

求職者支援訓練、都道府県委託訓練を全国で展開

2010年 厚生労働省雇用対策緊急人材育成支援事業による「基金訓練」建築・不動産・パソコン簿記養成講座を開始

2009年 建築士や土木講座を扱う日建学院認定校を展開

(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定講習を開始

2008年 日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート

2006年 国土交通大臣の登録をうけた実施機関として「宅建実務講習」を開講
1・2級建築士、宅建、個別指導システムスタート

なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。

より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、

「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。

試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。

歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。

映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。



Answer

生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

「合格率が平均的に10%高い実績！」

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。

全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1998年～

デジタル映像移行



クオリティを
追求し続ける

1989年～

映像学習



合格にこだわる選択
「映像学習」の講義スタイルへ

「つまずきやすい」が
「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は
脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取舍選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われてます。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

映像学習の特長

Ⅰ

視覚と聴覚の2つの感覚機能を同時に促すので、理解力と記憶力に優れている。

※人間は、多くの感覚器官が刺激を受けるほどに物事を理解・記憶しやすいという生理的特徴があります。

映像学習の特長

Ⅱ

残像現象の効果により、記憶した知識をよみがえらせ、使わせる想起度が高い。

※想起度とは、過去に学習したことや出来事を思い出す割合を示します。

映像学習の特長

Ⅲ

適切な講義時間の配分のもとに制作されているため、時間対効果が高い。

※講師の調子や質問によって時間配分が変わり、重要事項が抜ける、駆け足になるようなことはありません。

映像学習の特長

Ⅳ

フレーム効果の特徴によって、講義の内容に、自然に集中することができる。

※フレームの中にある景色には視線が自然に固定される効果があるため、しっかり観ることができます。

映像学習の特長

Ⅴ

講師や制作関係者が創意工夫をこらし、質の高いベストな講義を生み出している。

※生講師の講義は、講師一人ひとりのレベルや質、その日の調子などに左右されます。

日建学院の「映像」の質

ここが違う!!

よそ

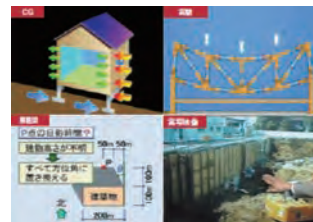
他の映像



講義の定点撮影

とは違う!

日建学院の映像



完全オリジナル撮影・編集

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。

日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、

最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。

講義時間の数倍の時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込んだ、頭と心に残る映像だから違いが出ます。



講義映像ができるまで

STEP.1 会議

合格に直結する映像をめざし
クオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック&精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。



STEP.2 撮影

各分野のカリスマ講師が
全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません！



STEP.3 編集

CGやアニメ等も盛り込みながら
頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ&編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。



STEP.4 完成



科学に基づく 日建式学習システム

必死に頑張ることは、もちろん大切。その頑張りを確実に成果に結びつけるためのシステムも、同じくらい重要です。

脳の仕組みにこだわって、スムーズに学び、しっかり記憶する。

自然な流れでくり返される学習システムで理解を促し、知識を定着させます。

脳は覚えるより、忘れるほうが得意!?

- 生きていくために必要な情報
- 合格するために必要な情報
- その他の情報

様々な情報

情報は目や耳などから
送り込まれる

情報を 忘れる

海馬でふり落とされた
その他の情報は
消去される

情報を 記憶する

海馬で選択された情報を
大脳で保管する

情報を 選択する

海馬では生きるために
必要な情報とその他の
情報をふるい分ける

●脳における記憶の分業システム

情報	脳には膨大な 情報が入ってくる	海馬	情報を取捨選択して、 大脳に送る	大脳	海馬から送られた 情報を保管する
----	--------------------	----	---------------------	----	---------------------

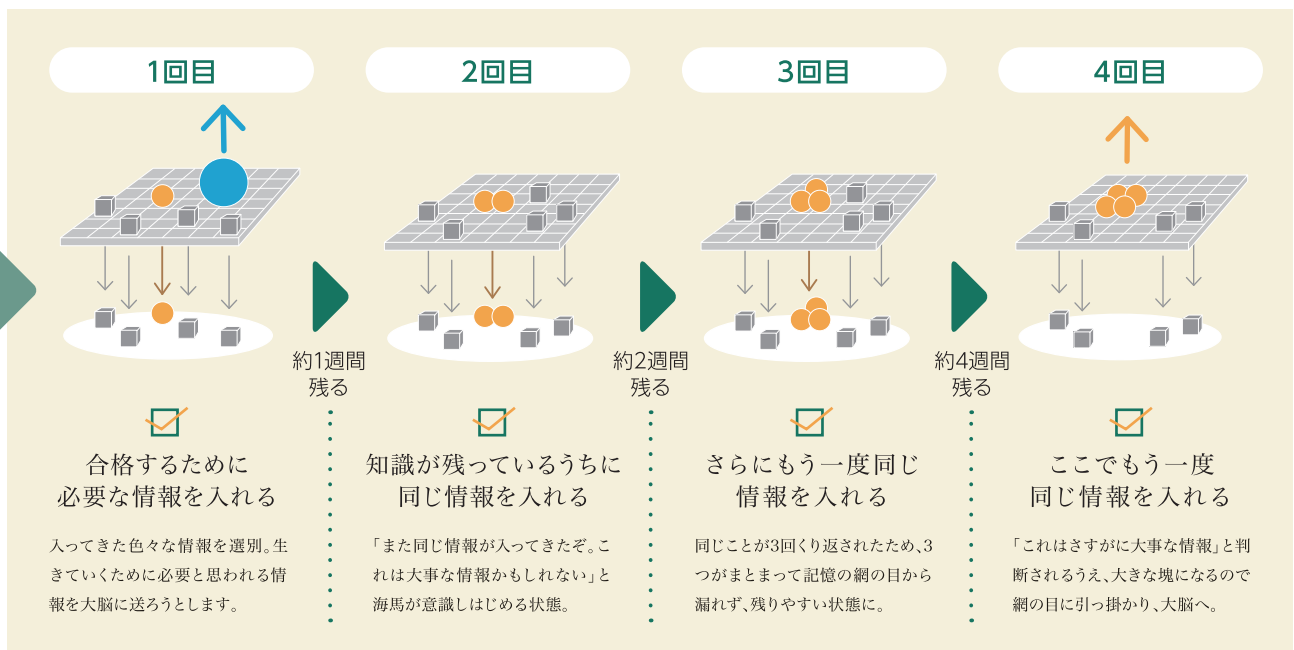
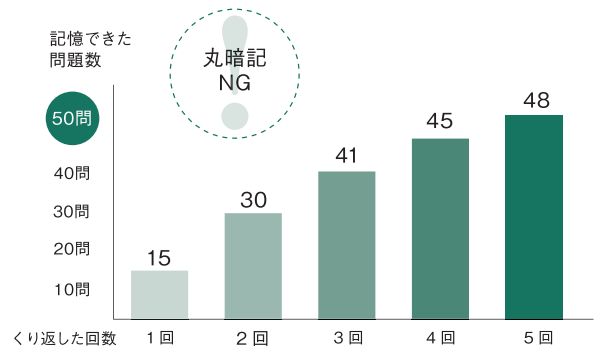
脳の仕組みを上手に利用している人が「頭の良い人」だ！

4回くり返し学習することがポイント！

くり返しと記憶の関係

(50問の問題をくり返し学習した場合)

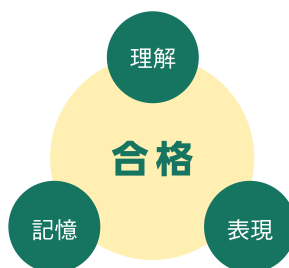
一度で覚えられないのは当たり前。「記憶力が悪い」わけではありません。記憶は、くり返し刷り込むことで定着します。くり返すことによって、誰でも覚えられることは増えていきます。



日建学院式 週間学習サイクル

1日2時間 自宅学習の習慣化！

1週間単位で確実に実行することが、合格の輪を大きくする。





2級造園施工管理技士とは？

緑の空間を創造する技術者、造園施工のエキスパートを目指す

都市に緑の空間を創造する造園施工管理技士。その仕事は、施工計画から安全管理まで、造園工事の総合的な責任者としての役割を担うものです。2級造園施工管理技士は、建設業法に定められた営業所（一般建設業の許可を受けた建設業者）における「専任技術者」および工事現場における「主任技術者」となることが認められています。

資格取得の
メリット

メリット
1

造園工事の現場に欠かせない資格

環境面に強い関心が寄せられる現在、この資格が持つ意義も大きいものです。安心・安全な緑の空間を創出するこの資格は、現場には欠かせません。

メリット
2

キャリアアップのための証として

あなたにとっても、資格の取得は「技術的知識」と「管理能力」を備えた人材としての証となり、昇進・昇給等キャリアアップにつながります。

メリット
3

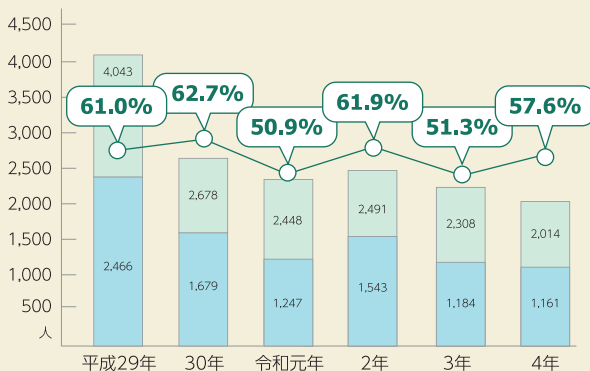
活躍の場を広げる第一歩

2級造園施工管理技士を取得することは、造園技術のエキスパートである1級資格へとステップアップするための第一歩になります。

check!

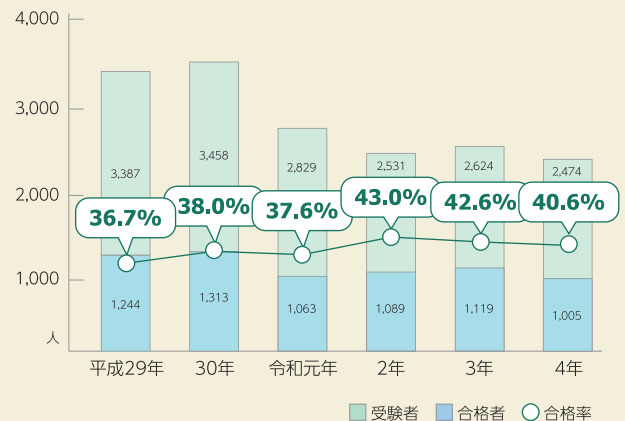
2級造園施工管理技士「一次(学科)後期」

受験者数・合格者数・合格率推移



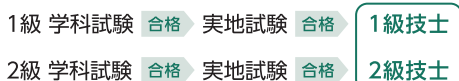
2級造園施工管理技士「二次(実地)」

受験者数・合格者数・合格率推移



技術検定制度の見直し (2021年4月1日施行)

【改正前】



【改正後】



第一次検定

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定

第二次検定

施工技術のうち実務経験に基づいた技術管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定

合格者インタビュー

やるべきことがわかれば結果はついてくる
日々の積み重ね学習で合格



南 彩花 Sayaka Minami

勤務先の業種 造園業

取得資格 2級造園施工管理技士

Q.なぜ日建学院を選びましたか？

造園業の仕事をしているので、造園の資格が欲しかったのですが、独学で2回落ちてしまい3回目だったので、通学することを社長に勧められました。日建学院を選んだのは、周りに合格者が多かったから。実際試験の問題は、日建学院のテキストから出た問題が多かったです。

Q.実際通ってみていかがでしたか？

独学の時は市販のテキストで学習していましたが、とにかく全範囲に目を通すしかなくて、試験で間違ってもどこが間違っているのかさえわかりませんでした。その点日建学院では、どこが出るのか重要なポイントを的確に教えてもらえる。やるべきことが明確なので、やる気につながりました。

Q.どのような学習スタイルでしたか？

過去問10年分を何度もくり返し学習しました。また、その日の講義内容やテストで間違ったところは、その日のうちに復習。そうすることで学習範囲も狭くて覚えやすいのです。宿題も毎回きっちり出していました。日々の積み重ねが良かったのだと思います。



一次・二次

コースの特長

合格へのフルスペック学習を
自宅学習＋一次・二次対策講座で

本講座全16回(一次対策講座10回、模擬試験も含めた二次対策講座6回)に備え、事前に基礎力と学習リズムを身に付ける基本自宅学習をプラス。フルスペックの学習内容で合格力を養います。

■ 一次・二次コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約2ヵ月間

■ 一次・二次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 9月上旬～11月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】



面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで
基礎レベルを判定します。



基本自宅学習

[全5回]

- 造園原論、造園材料 (1回)
- 植栽、造園施設 (1回)
- 土木工学、関連工事 (1回)
- 測量・設計図書、施工管理 (1回)
- 法規 (1回)



教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費: 100,000円 (税込110,000円)



教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費: 100,000円 (税込110,000円)

9月

オリエンテーション

[一次・二次対策講座用教材配付]

いよいよ一次・二次対策講座の開始です。ここで、講座内容の説明を受け、教材が配付されます。

10月

一次対策講座



[全10回]

- 造園原論 (1回)
- 造園材料 (1回)
- 植 栽 (1回)
- 造園施設 (1回)
- 土木工学 (1回)
- 関連工事、測量、
契約・設計図書 (1回)
- 施工管理 (1回)
- 法 規 (1回)
- 一次問題解説 (2回)

11月

二次対策講座



[全6回]

- 二次対策 (3回)
- 二次演習問題解説 (1回)
- 模擬試験
 - 一次模擬試験 (1回)
 - 二次模擬試験 (1回)

第一次・第二次検定本試験

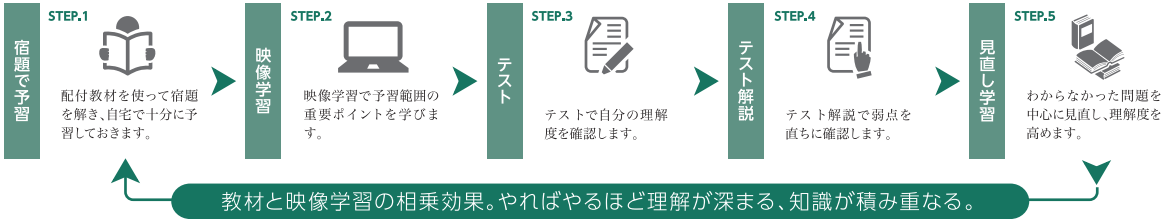
※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

一次・二次

■ 一次・二次コース ■ 一次・二次Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題	
9月	◇	特別研修会(オリエンテーション)	60分	—	—
	1	造園原論	105分	1回	一次1・2回
	2	造園材料	105分	2回	
	3	植栽	105分	3回	一次3・4回
	4	造園施設	105分	4回	
	5	土木工学	105分	5回	一次5・6回
	6	関連工事、測量、契約・設計図書	105分	6回	
	7	施工管理	105分	7回	一次7・8回
	8	法規	105分	8回	
	9	一次問題解説①	90分	—	—
10	一次問題解説②	90分	—	—	
10月	1	二次対策①	105分	—	二次1・2回
	2	二次対策②	105分	2回	
	3	二次対策③	105分	3回	二次3回
	4	二次演習問題解説	90分	—	
	5	模擬試験(一次検定)	120分	—	—
	6	模擬試験(二次検定)	90分	—	
11月	本試験	2級造園施工管理技士 一次・二次検定本試験日			

相乗効果を
最大限に
引き出す
学習サイクル



一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



一次対策問題集

問題集は、問題と解答解説を合わせて記載しているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめてありますので、弱点部分の補強にも大変便利な構成になっています。



二次対策テキスト

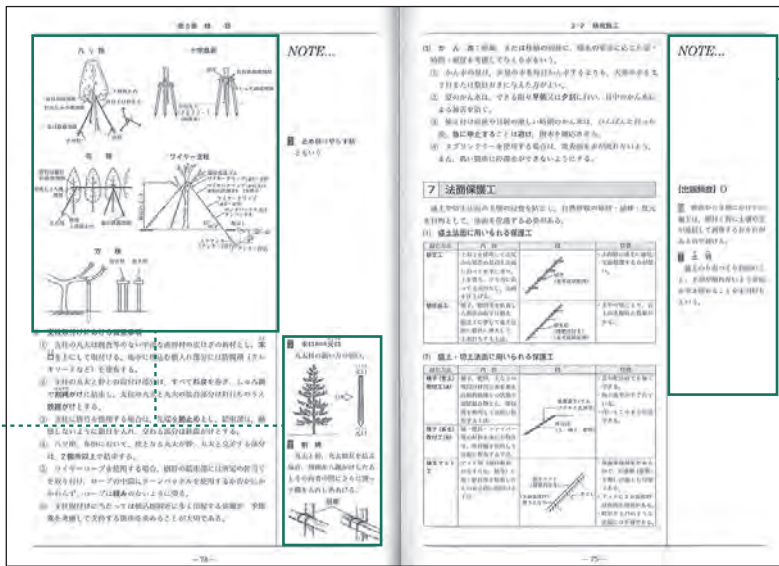
二次検定で出題される経験記述の「記入上のポイント」や記述式問題に対する「留意事項」、実際に書いて覚える練習を行うための「演習問題」等を網羅したテキストです。



出題傾向を徹底分析、わかりやすい 「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい



「関連アドバイス」が丁寧で見やすい

出題頻度

各項目に出題頻度が掲載されていますので、効率的に学習することができます。

用語

重要な用語には、必ず解説と表や図解を掲載

ポイント欄

重要事項の要点を抜粋

注意欄

間違えやすい部分には先回りして解説を掲載

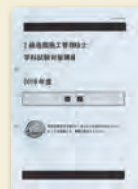
図や写真が多く理解しやすい



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、一次・二次対策講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



一次対策宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイントを事前にインプットすることを目的としています。



一次対策テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度を測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して進捗具合をチェックし、学習度合いの客観視や弱点把握などに役立ちます。

※教材写真は過年度のものです。

一次

コースの特長

理解しやすい「映像講義」
理解度を高める「オリジナル教材」と

後期(11月)一次検定に対応した受検対策講座です。基本自宅学習全5回、一次対策講座と模擬試験を含めた全11回の学習内容で合格力を養います。

■ 一次コース (11月試験向け)

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約2カ月間

■ 一次Webコース (11月試験向け)

受講形態: Web

配信期間: 9月上旬～11月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

11月試験向け

入学・面接

【自宅学習用教材セット配送】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで
基礎レベルを判定します。

🖋️ 基本自宅学習 [全5回]

- 造園原論、造園材料(1回)
- 植栽、造園施設(1回)
- 土木工学、関連工事(1回)
- 測量・設計図書、施工管理(1回)
- 法 規(1回)



教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:70,000円(税込77,000円)



教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:70,000円(税込77,000円)

9月上旬

11月



一次対策講座

[全11回]

- 造園原論(1回)
- 造園材料(1回)
- 植 栽(1回)
- 造園施設(1回)
- 土木工学(1回)
- 関連工事、測量、契約・設計図書(1回)
- 施工管理(1回)
- 法 規(1回)
- 一次問題解説(2回)
- 一次模擬試験(1回)

第
一
次
検
定
本
試
験

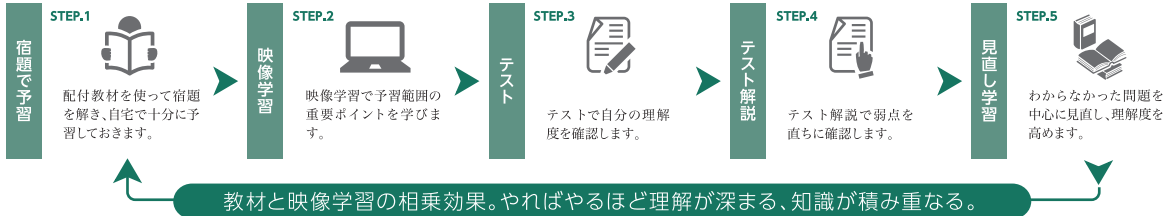
※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

カリキュラム

■ 一次コース(11月試験向け) ■ 一次Webコース(11月試験向け)

11月 試験	回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題	
9月	◇	特別研修会(オリエンテーション)	60分	-	-	
	1	造園原論	105分	1回	1・2回	
	2	造園材料	105分	2回		
	3	植栽	105分	3回	3・4回	
	4	造園施設	105分	4回		
	5	土工学	105分	5回	5・6回	
	6	関連工事、測量、契約・設計図書	105分	6回		
	7	施工管理	105分	7回	7・8回	
	8	法規	105分	8回		
	10月	9	一次問題解説①	90分	-	-
		10	一次問題解説②	90分	-	-
11		模擬試験(一次検定)	120分	-	-	
11月	本試験	2級造園施工管理技士 第一次検定本試験日				

相乗効果を最大限に引き出す学習サイクル



一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



一次対策問題集

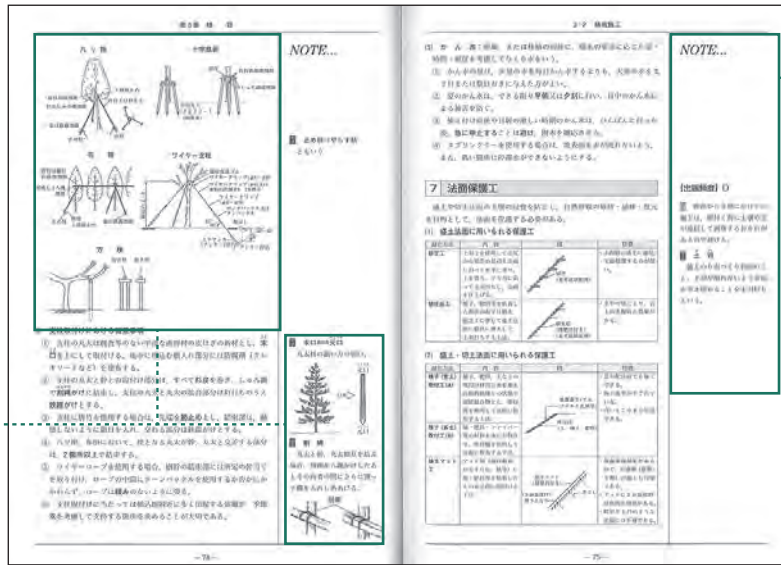
問題集は、問題と解答解説を合わせて記載しているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにとまとめているので、弱点部分の補強にも大変便利な構成になっています。



出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい



図や写真が多く理解しやすい

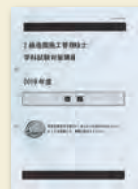
- 出題頻度**
各項目に出題頻度が掲載されていますので、効率的に学習することができます。
- 用語**
重要な用語には、必ず解説と表や図解を掲載
- ポイント欄**
重要事項の要点を抜粋
- 注意欄**
間違えやすい部分には先回りして解説を掲載



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、一次対策講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



一次対策宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイントを事前にインプットすることを目的としています。



一次対策テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度を測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して進捗具合をチェックし、学習度合いの客観視や弱点把握などに役立ちます。

※教材写真は過年度のものです。

二次

コースの特長

二次対策に特化した
徹底集中講座

約1ヵ月間、全5回で構成される二次対策に特化した集中講座です。

経験記述や記述式問題の過去問題を徹底分析し、解りやすい教材と理解しやすい講義内容で重要ポイントを学習。模擬試験で実力把握するなど、二次検定合格を強力にサポートします。

■ 二次コース

受講形態: 通学

学習期間: 受講開始から
約1ヵ月間

■ 二次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 10月下旬～
本試験当日まで



コースカリキュラム

10月下旬

二次対策講座 [全5回]

回数	講義	時間数	内容
1	二次対策①	105分	二次検定は、一次検定の正誤の判定とは違い、記述で解答する方式です。記述で解答するには、解答に必要な知識を理解してそれを文章にする力が必要になってきます。この知識プラス文章力を習得するための講義です。
2	二次対策②	105分	
3	二次対策③	105分	

学習形態



通学型学習



Web



教材配付:10月下旬より予定

学費: **70,000**円 (税込77,000円)



教材配付:10月下旬より予定

学費: **70,000**円 (税込77,000円)

11月

第二次検定本試験

回数	講義	時間数	内容
4	二次演習問題解説	90分	記述式問題において重要度の高い問題を厳選した演習問題解説講義です。本試験前の最終確認として役立ててください。
5	模擬試験(二次検定)	90分	模擬試験は、全国一斉に行われる本試験と同じ出題形式です。「あなたの実力がどれぐらいなのか?」が解ります。この結果に基づき教材で弱点を補強してください。

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

POINT 1

合格するためのポイントを効果的に学べる。

映像講義は、全て一流講師陣をはじめとするプロ集団が制作。試験のポイントがわかりやすく、要点を掴みやすい講義です。

POINT 2

理解度・想起度が高い
図表や動画を使用。

視覚と聴覚を同時に刺激する映像講義。理解度・想起度・記憶度を抜群に高める学習方法として、高い評価と厚い信頼を得ています。講義の流れに合わせて図表などを用いて解説するため、高い理解度が得られます。

実物映像や図解だから理解が早い！



日建学院の映像講義のクオリティの高さと教材の完成度は、多くの企業、法人、大学等からも高い評価を受け、国土交通省登録の法定講習をはじめ、様々な講義への制作協力もしています。

まずは動画体験版へGo!

日建学院

検索

Click!

二次対策テキスト

二次検定で出題される経験記述の「記入上のポイント」や記述式問題に対する「留意事項」、実際に書いて覚える練習を行うための「演習問題」等を網羅したテキストです。



宿題

自宅で行う予習用の教材で、必要なポイントを事前に記述練習することを目的としています。



テスト

宿題や講義で学んだ記述ポイントの定着度合いを測るアウトプット教材です。必要なポイントをしっかり覚えたいうえで簡潔な解答が記述できているかを確認します。



出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

記述式問題の出題項目毎に、これから学習する項目のポイントを掲載!

記述解答する上で必要な留意事項等を掲載! ポイントとなる重要語句などは赤文字で表示しており、どのような事項を記述解答しなければならないかが一目瞭然!

記述式問題は、解答を文章で記述解答しなければなりません。テキストには演習問題とその解答試案が掲載されていますので、より実践に近い形で記述解答練習が行えます。記述のポイントとなる重要語句もテキストに掲載されています。

図やイラストなどを併記! 記述解答のポイントをイメージしやすくしています。

※教材写真は過年度のものです。

万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。

そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、

厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、

共に立ち向かいます。二人三脚で歩む担当パートナー。

急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。

学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

何でも相談、 合格まで二人三脚で親身にサポート

ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



万が一の欠席も心配なし、 忙しい社会人をフォロー

欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



全国一斉、同一講義だから、 出張や転勤時も安心

聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



個別ブースで あなただけの学習環境を

補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



疑問や不明点は メールでその都度解決

質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



